

令和2年度
学校評価報告書

四天王寺小学校
学校評価検討委員会

目 次

1.	はじめに（校長）	2
2.	建学の精神	3
3.	学校教育目標	4
4.	今年度重点目標 Plan 評価方法	5
5.	評価結果の分析と考察	7
6.	保護者アンケートの結果	17
7.	学校関係者評価	19

はじめに

学校の自主性・自律性が高まる上で、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展をめざすことが重要です。また、学校が説明責任を果たし、家庭や地域、関連校との連携協力を進めていくことが求められています。

文部科学省は、学校教育法を平成19年6月に改正し、第42条においては、学校評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努めることを規定しました。また第43条においては、学校の情報提供に関する規定を新たに設けました。さらに、上記の学校教育法改正を受けて、学校教育法施行規則を平成19年10月に改正し、現在に至っています。

本校では、教育活動をはじめとする学校運営の状況について評価し、その結果についての説明責任を果たしつつ学校自ら改善を行っています。また、その結果に応じて設置者が必要な支援等を行い、本校における教育水準の向上・保証を目的とした学校評価システムの構築とそのさらなる充実・改善を図っているところであります。

また、今年度の評価においては、平成28年度に行った「変わる宣言」が具現化されていく中で、教職員の意識の高まりが見られ、今まで以上に厳しい目で自らの実践を評価している姿が浮かび上がる内容となっています。

平成21年4月開校の本校は、平成22年度に学校評価検討委員会を設け、学校評価をどのように導入するかについて検討し、平成22年度は「自己評価」を実施しました。平成23年度より、「自己評価」の内容を精査し、より実態に即した内容で評価項目を設定して実施してきました。

また、平成24年度より、「学校関係者評価」として後援会実行委員会4役（会長、副会長、会計、会計監査）の皆様からの評価（ご意見）もいただいております。

さらに平成26年度からは、保護者のご意見をこれまで以上に学校運営の改善に反映させるべく、「保護者アンケート」を実施し、より利用者目線に立った客観的かつ厳しい学校評価の実現に努めました。

この学校評価により、児童がより良い教育活動を今以上に享受できるよう、学校運営の改善を図り、本校が益々発展することをめざしてまいります。

令和2年3月31日
四天王寺小学校
校長 花山 吉徳

■ 建学の精神

聖徳太子は、推古元年（西暦 593 年）に四天王寺を創建し、敬田院とされました。その設立の精神は、「帰依渴仰 断悪修善 速證無上大菩提處」であり、それは、全ての生きとし生けるものが、仏教に帰依し、深く信じ、悪を断ち、善を修め、速やかに仏の悟りを得て、その境地に達することのできる場所を意味します。また、敬田院と同時に、国家の基礎であり、仏教の重要な教えである慈悲行の実践の場所として、施薬院・療病院・悲田院を設立して四箇院とされました。敬田院で研鑽を積んだ人材が、他の三院の運営に関わり、平和で人々が幸せに暮らせる国づくりに尽力しました。その敬田院の精神を建学の精神として、大正 11 年（西暦 1922 年）に聖徳太子 1300 年御忌記念を機として、学校法人 四天王寺学園は創立されました。

創立以降、聖徳太子のご偉業の中から、三経義疏（勝鬘経義疏・維摩経義疏・法華経義疏）を撰述されたことを受け、特に勝鬘夫人・維摩居士を範とした教育を打ち出し、また聖徳太子が制定された十七条憲法に準拠して学園訓を制定しました。十七条憲法の第一条「和を以て貴しとなす」に象徴される「和の精神」により、道徳観・倫理観を涵養し、勉学・スポーツ等において自己を徹底して磨く教育を実践してきました。社会には時代ごとに国内外を問わずあらゆる課題が存在しますが、その課題解決のために、利他の心を起こし、磨き上げた自己の知識・技能をもって、人々に寄り添える人材を育成することが本学園の使命であります。

学園訓

- 一、和を以て貴しとなす
- 一、四恩に報いよ
 - 四恩とは
 - 国の恩
 - 父母の恩
 - 世間の恩
 - 仏の恩なり
- 一、誠実を旨とせよ
- 一、礼儀を正しくせよ
- 一、健康を重んぜよ



聖徳太子の「利他と和」の精神を礎に
志高く豊かな日本のこころを育む

建学の祖である聖徳太子の仏教精神を礎に、「知育」「徳育」「体育」と、古来より
私たち日本人が大切にしてきたものの継承に重点をおいた教育に取り組みます。

仏教精神を基盤にした普遍的価値を学ぶ人間教育

- ・ 真のエリートをめざした智慧と教養を身につける・・・・・・・・・・知
- ・ 自国の伝統や文化を理解し、誇りに思えるようにする・・・・・・・・知
- ・ 勤勉、誠実、謙虚な心を大切にする・・・・・・・・・・・・・・・・徳
- ・ 正しい振る舞いや正しい礼儀を実践する・・・・・・・・・・・・徳
- ・ 他者への優しさをもち、親や祖先を大切にする・・・・・・・・・・徳
- ・ 自然に対する畏敬の念をもつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・徳
- ・ たくましい健康な心と体をつくる・・・・・・・・・・・・・・・・・・体

宗教教育（礼拝・瞑想・宗教の時間）・教科指導・特別活動・生活指導



体験を通して普遍的価値を知る

教科を通して知恵と教養を学ぶ

活動を通して心身を鍛える

- ・ 文化や伝統を学び、継承する
- ・ 礼儀作法を学ぶ
- ・ 情緒を感じる
- ・ 武道に親しむ

- ・ 読み、書き、計算の基礎技能
と基礎的な知識を習得する
- ・ 思考力、判断力、表現力を伸ばす
- ・ 探究力を鍛え、人間的感性を
高める

- ・ 基礎体力を身につける
- ・ 協同的な行動力を習得する
- ・ 健康や安全に関心をもつ
- ・ 規範意識を身につける

総合的な学習の時間

特別活動（クラブ活動等）

国語、算数をはじめとする

各教科・補習

保健体育・給食指導

特別活動・学校行事

■ 今年度重点目標 Plan

前項に掲げた「建学の精神」、および「学校教育目標」に貫かれている仏教の精神を基盤とした教育の実現には、その運営から実践面に至るまで種々の専門的観点を目標化し、取り組んでいく必要がある。

「利他と和」の精神、すなわち「他者の利益を重んじ、お互い助け合う。」ことの大切さを児童育成の基本理念に掲げ、心の教育を充実させるべく、「Plan 1. ～ 9.」の重点目標を設定することとした。

1. 学校運営：教育目標の実現に向け、教職員が一丸となった学校運営を行う
2. 仏教教育：仏教精神を生かした学習に取り組み、望ましい人格形成を行う
3. 学習指導：学習活動や行事運営の計画的な実施を心がけ、日々の授業の効果を高める
4. 入試広報：効果的な入試広報活動を行い、本校が求める児童募集をめざす
5. 健康教育：児童の健やかな成長に向けて、保健的・体育的な指導の内容を高める
6. 生活指導：安全教育や集団づくりに取り組み、規律正しい生活習慣を確立する
7. 研究研修：教員の資質や授業力を向上させるため、研究・研修を実施する
8. 人権教育：人権侵害やいじめの実態を把握し、適切な指導や未然防止に取り組む
9. 進路指導：児童や保護者のニーズに応える進路指導をめざす

■ 評価方法

今年度重点目標「Plan 1. ～ 9.」の達成度を検証するために、重点目標ごとに評価項目Doを設け、以下のような形でアンケートを実施した。尚、経年比較を確認するため、質問内容は前年度とほぼ同じものを用いている。

- 1) 実施対象： 回答教員 実施数（23名）
- 2) 実施形態： 自己評価によるアンケート
- 3) 評価項目毎に4段階で評価し、分析と考察を行う
A(当てはまる) B(やや当てはまる) C(あまり当てはまらない) D(当てはまらない)
- 4) 評価点算出式： $5 \times A\% + 4 \times B\% + 2 \times C\% + 1 \times D\% =$ 評価点

教員の自己評価に加え、保護者アンケートの実施結果を掲載した。併せて関係者評価として学校関係者評価委員会の方々のご意見をまとめさせていただいた。

■ 評価結果の分析と考察

Plan 1. 学校運営：教育目標の実現に向け、教職員が一丸となった学校運営を行う

(評価の目標点 400)

No.	項目【Do】	割合 (%)				得点	得点
		A	B	C	D	RO2	RO1
1	教育目標の実現に向け、児童の実態を考慮した計画を作成する。	30	57	13	0	404	421
2	小学校の教育理念や教育目標に基づく教育活動を行う。	43	48	4	4	419	453
3	教員の児童募集に対する意識を高揚させる。	13	65	17	4	363	399
4	管理職や教職員同士の相互理解や信頼関係に基づいて教育活動を行う。	26	61	9	4	396	391

Plan 2. 仏教教育：仏教精神を生かした学習に取り組み、望ましい人格形成を行う

(評価の目標点 400)

No.	項目【Do】	割合 (%)				得点	得点
		A	B	C	D	RO2	RO1
5	本校の教育目標に沿ったカリキュラムを作成する。	23	59	14	5	382	409
6	種々の宗教行事を指導に生かす。	14	55	32	0	350	373
7	宗教の時間（道徳）の指導時数を確保する。	55	45	0	0	455	455
8	宗教の時間を始め、教育活動全般を通して仏教精神を生かした指導を行い、望ましい人格形成に成果をあげる。	14	64	23	0	368	414

Plan 1. 学校運営：教育目標の実現に向け、教職員が一丸となった学校運営を行う

(評価の目標点 400)

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
1	新型コロナウイルス感染症への対応が中心となり、計画作成が困難であった。	今までの実践を生かし、コロナ禍で、それに対応する計画が必要である。
2	教員間での教育理念や教育目標の共有が進み、教育活動に活かされている。	各校務分掌のさらなる活性化を進め、新たな教育活動の創造に努める。
3	児童募集に対する教職員全体の意識を高める必要がある。	全教職員が団結して広報活動を行ったり、児童募集の研修を積極的に行う。
4	改善が見られるが、教員会議以外にも個の意見を取り入れる場を継続して設定する必要がある。	昨年度より管理職による個別面談を行っており今年度も実施した。個の意見を活かせる場作りをさらに進める。

Plan 2. 仏教教育：仏教精神を生かした学習に取り組み、望ましい人格形成を行う

(評価の目標点 400)

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
5	「利他と和の精神」に基づいたカリキュラムを改める必要がある。	宗教教育の年間指導計画を改め、より良いカリキュラムを作成する。
6	新型コロナウイルスの影響で行事を行うことができなかった。また、行事が惰性的になっている。	コロナ禍の中で行える行事を推進していく。惰性的にならないように新たに体験行事などを取り入れる。
7	指導時数を確保できている。	今後も継続して実践していく。
8	評価点は減少しているが、ともいきタイムや以和貴タイムでお話していただいた内容を学級の時間でも指導に生かしている。	今後も宗教の時間を基盤に、低学年のうちから仏教精神を生かした指導を継続する。

Plan 3. 学習指導：学習活動や行事運営の計画的な実施を心がけ、日々の授業の効果を高める
 教務（評価の目標点 400）

No.	項目【Do】	割合（％）				得点	得点
		A	B	C	D	R02	R01
9	効果的な教科、領域のカリキュラムを立てる。	27	59	9	5	395	400
10	適切な一日の校時計画を立てる。	55	45	0	0	455	443
11	授業を年間指導計画通りに進める。	43	48	9	0	426	459
12	チャイムと同時に授業を開始する。	61	30	4	4	439	414
13	丁寧な発問・質疑応答をする。	48	48	4	0	439	452
14	持たせた副教材はすべて十分に活用する。	43	43	13	0	417	450
15	公平で正しい評価をする。	73	27	0	0	473	477
16	学力不振の児童に対して適切な指導と支援を行う。	48	35	17	0	413	423
17	個に応じた指導を行い、学力の向上をめざす。	52	48	0	0	452	436
18	妥当な年間行事計画を立てる。	43	48	10	0	424	429

Plan 3. 学習指導：学習活動や行事運営の計画的な実施を心がけ、日々の授業の効果を高める
教務（評価の目標点 400）

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
9	カリキュラムは概ね完成している。	塾との連携等を進めながら、各教科・領域のカリキュラムの精査が必要である。
10	新学習指導要領に対応した校時を計画できている。	継続して進める。
11	長期休業により、年度当初は、計画通り進めることができなかったが、オンライン等を用いながら、年度末には、予定していた内容を履修することができた。	時数調査や学習進捗の確認を継続して行う。
12	予鈴を導入したことにより、概ね、チャイムと同時に授業を開始できた。	更に改善できるように継続した指導を行う。
13	児童の発達段階を意識しながら、主体的な学習活動を促す発言や助言に努めている。	教員研修を充実させて効果的な指導のあり方を深める。
14	概ね、副教材を十分活用できたが、児童の学習定着の差により、一部活用しきれなかった。	基礎学力の定着を徹底した上で、児童の実態にあわせて、活用していく。
15	児童一人ひとりの学習過程を大切に評価し、評価項目に沿った評価ができるように努めている。	今後も適切な評価を行うように努める。
16	休み時間、放課後等を用いて、個別指導を行っている。	継続して進める。タブレットを用いた個別指導も今後検討していくこととする。
17	習熟度別授業を推進し、一人ひとりにきめ細かな指導・支援を進めている。	教員研修を取り入れながら、より効果的な指導・支援ができるよう努める。
18	新しいカリキュラムを見越した年間行事計画の改善を継続して行う。	新しいカリキュラムに対応し、行事の精査・創造を計画的に進める。

Plan4. 入試広報：効果的な入試広報活動を行い、本校が求める児童募集を目ざす

教務（評価の目標点 400）

No.	項目【Do】	割合（％）				得点	得点
		A	B	C	D	R02	H01
19	効果的な広報計画、広報活動を行う。	14	71	14	0	386	430
20	適切な情報の発信（HP等）を行う。	52	48	0	0	452	440
21	入試において、本校が求める児童を集める。	5	68	18	9	341	411

Plan5. 健康教育：児童の健やかな成長に向けて、保健的・体育的な指導の内容を高める

教務（評価の目標点 400）

No.	項目【Do】	割合（％）				得点	得点
		A	B	C	D	R02	R01
22	健康・安全・保健に関する、児童の発達段階に応じた年間指導計画を作成する。	48	52	0	0	448	452
23	健康診断、健康観察、保健相談等により、健康保持、事故防止を適切に行う。	59	41	0	0	459	457
24	適切な教育相談、カウンセリングを行う。	41	59	0	0	441	443
25	体育行事を計画的かつ適切に実施し、児童の健康保持、体力向上に成果をあげる。	14	62	24	0	367	445
26	給食の食べ方やマナー、栄養指導といった食育指導を適切に行う。	36	50	14	0	409	359
27	正しい掃除の仕方を指導するとともに清掃用具の整備を行い、清潔で美しい学校づくりを行う。	36	59	5	0	427	371

Plan4. 入試広報：効果的な入試広報活動を行い、本校が求める児童募集を目ざす

教務（評価の目標点 400）

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
19	3月～5月の広報イベントが、中止となったが、その補填となる催しが計画できなかった。	「オープンスクール」をイベントの中心とし、児童の姿を広報の中心に据える。
20	学校ブログの掲出回数が増加し、本校の特色ある取り組みを発信できた。	新しいツールとして、SNSを活用した広報を行う。
21	本校の「求める児童」と入試の実態について、教員で共通理解をする場が必要だと思われる。	連携園についての見直しや、対話型・一般入試の全日程同時開催などの改良を行う。

Plan5. 健康教育：児童の健やかな成長に向けて、保健的・体育的な指導の内容を高める

教務（評価の目標点 400）

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
22	怪我や病気の予防・性教育などが計画的に実施され、保健だよりを通じて啓発した。怪我の手当ても適切に実施した。	外部人材を活用した学習の提供の更なる充実を図る。
23	健康診断などから適切な医療受診を促し、健康保持増進に努めた。	児童の心身の健康観察に努め、健康の保持増進や事故防止につなげる。
24	保護者・児童の実態を考慮し、カウンセリングの活用を促した。	カウンセラー、担任、教職員による組織的連携に一層努める。
25	授業、委員会活動による啓発で、健康保持の意識は高まったが、感染症予防の制約があった。授業の工夫や三密を避けたパワーアップの実施により運動意欲を保てた。	正しい四天王寺体操、四天王寺リズム縄跳びの徹底を図り、更なる体力増進を目指す。
26	コロナウィルス感染症を予防した食事の仕方は徹底できたが、専門知識を持つ栄養士による、一貫した給食指導が必要である。	感染症を予防する食事の仕方は引き続き継続する。給食指導内容を共通理解して進める。
27	分担場所は複数あったが、児童はできる範囲で確実に清掃を行っていた。	「清掃」を仏教修行の「作務」と捉えて心を磨き育てるものと位置づけ、美化委員会や教員の講話を通して児童への啓発に取り組む。

Plan 6. 生活指導：安全教育や集団づくりに取り組み、規律正しい生活習慣を確立する

(評価の目標点 400)

No.	項目【Do】	割合 (%)				得点	得点
		A	B	C	D	R02	R01
28	安全生活指導（防災訓練）を計画的に実施し、危機管理意識を向上させる。	70	26	4	0	461	439
29	交通安全指導が適切に計画・実施する。	39	57	4	0	430	435
30	学校のきまりや公共のルール、マナーを遵守させる。	30	48	22	0	387	361
31	いじめや問題行動に素早く対応するとともに、未然に防ぐ指導を行う。	68	27	5	0	459	445
32	縦割り活動を計画的に実施し、異年齢集団の交流を行う。	59	32	9	0	441	477

Plan 7. 研究研修：教員の資質や授業力を向上させるため、研究・研修を実施する

(評価の目標点 400)

No.	項目【Do】	割合 (%)				得点	得点
		A	B	C	D	R02	R01
33	校内研修や授業研究会を行い、教員の資質を高める。	0	32	55	14	250	414
34	多様な学力観に対応できるよう研修を行い、授業改善に生かす。	0	64	27	9	318	405
35	初任者研修を計画的に実施し、初任者の指導力向上に役立てる。	0	35	53	12	259	400
36	いじめ問題を正しく理解し、適切な指導ができるよう研修を行う。	5	59	32	5	327	382
37	モジュールタイムの計画と運用を適切に行い、児童の学力向上に役立てる。	27	64	9	0	409	423

Plan 6. 生活指導：安全教育や集団づくりに取り組み、規律正しい生活習慣を確立する

(評価の目標点 400)

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
28	計画的に実施を行った防災訓練等を通して、児童の危機管理意識は向上している。今年度は、コロナ対策により避難する際や集合する際に密にならないように意識したが、課題に実感を伴った訓練を行えたとは言えない。	中身をさらに充実させるようにし、有事があった際の対応に生かす。児童に事前に訓練の日時を知らせないなどの工夫を行うことも検討すべきである。不審者対応訓練の実施も検討事項。
29	月に一度の登下校指導を行うことで児童の意識が向上してきている。ただ、登校時の2列歩行、高学年の下校時の歩行などが課題としてあがってきている。	話し合った内容を日々の登下校にもいかし、更なる向上を目指す。全体で交通安全指導を行う機会を設ける。
30	生活指導会議の中で共通理解を図ったり、ルールやマナーの確認を行ったりすることができているため、問題が起きた場合にも迅速に対応することができている。	教員全員での共通理解を図り、児童への一貫した指導を徹底する。コロナ禍での新たな学校生活様式について模索していく。
31	情報を共有することで、いじめの芽の段階でそれを摘み取る意識を互いにもつことができている。	いじめのない集団を形成するための前向きな指導を徹底したい。集団づくりを系統的に指導できるような指導計画を立てる。
32	コロナ禍ではあるが、可能な限り交流は図ることができたが、集会委員会の負担が大きくなってしまった。	新たなよりよい形での交流方法を模索する。

Plan 7. 研究研修：教員の資質や授業力を向上させるため、研究・研修を実施する

(評価の目標点 400)

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
33	今年度は、コロナ対策のため従来の授業を通しての研修ができなかった。	従来の研修方法を改め、個人での研修を中心とした研修体制をつくる。
34	上記と同様、コロナ対策のため十分に研修を進めることができなかった。	タブレットの活用に取り組み、多様な学力観への対応を進める。
35	初任者に対する位置づけについて共通理解ができていなかった。	初任者を担任経験2年以内などにさだめ、研修体制を整える。
36	定期的に行っている生活指導会議、生活指導連絡会の中で共通理解を図ることはできている。ただ、コロナ禍の中だったので全体研修を確保することが難しかった。	いじめが起きない集団づくりなど、いじめを未然に防ぐ内容の研修の場を積極的に設定したい。
37	英語モジュールが1年生から4年生までの実施となり、煩雑化してきている。	担任への詳しい内容説明を行う。一年一年、児童の実態・レベルに合わせた教材を吟味検討していく。

Plan8. 人権教育：人権侵害やいじめの実態を把握し、適切な指導や未然防止に取り組む

(評価の目標点 400)

No.	項目【Do】	割合 (%)				得点	得点
		A	B	C	D	R02	R01
38	児童の実態に即した人権教育の年間指導計画（内容・時数）を作成する。	27	68	5	0	418	395
39	日々の教育活動に人権教育の成果を活かす。	36	59	5	0	427	430
40	児童間で人権侵害事象を起こさせない。	50	41	9	0	432	414
41	児童への人権侵害と思える言動を発しない。	68	32	0	0	468	450
42	教職員への人権侵害と思える言動を起こさせない。	50	41	9	0	432	432
43	いじめ防止等対策の組織を機能させ、いじめの防止早期発見・対処に役立てる。	64	36	0	0	464	459
44	心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるようないじめを認めない。	59	41	0	0	459	467

Plan9. 進路指導：児童や保護者のニーズに応える進路指導をめざす

(評価の目標点 400)

No.	項目【Do】	割合 (%)				得点	得点
		A	B	C	D	R02	R01
45	進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設ける。	10	71	19	0	371	433
46	児童に進路希望に沿った進路指導を行う。	15	65	15	5	370	415

Plan8. 人権教育：人権侵害やいじめの実態を把握し、適切な指導や未然防止に取り組む

(評価の目標点 400)

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
38	人権教育年間計画を実施できた。	各学年が仏教教育の充実を目指し、児童の内面に迫れるようにする。
39	靴を揃えることが心を整えるという教えのように、宗教の時間に学んだ人権教育の内容を日常生活で関係づける児童の様子が見られた。	学んだことを日常生活に活かしていけるように、仏教教育の中で、子どもたちが実践可能な内容を踏まえて伝えていく。
40	日々指導を行っているが、相手の人権を侵害するような事例がいくつか見られる。その都度、ケース会議を開くなど迅速かつ、適切な対応で早期解決ができています。	学校行事や仏教教育を通して、子どもたちの思いやりの心を育み、より良い関係作りを進める。事象が起こった場合は生活指導部や安全安心対策室と連携し、適切な対応で解決を目指す。
41	子どもたちへの言動には日々留意しているが、十分できているとは言えない。	子どもたちに寄り添った言葉掛けを心がけ、継続して取り組む。
42	教職員が子どもの立場を尊重し、適切な指導を心がけている成果が見られた。	教職員に対する人権尊重の意識を大切にして継続して取り組んでいく。
43	いじめを認めないという毅然とした態度を示すとともに、アンケートによる情報収集をしたり、週に一度情報を共有する場を設けたりして学校全体で取り組むよう努めている。	いじめを認めないという毅然とした態度を継続して示すとともに、児童間のつながりを深め、良好な関係作りに取り組むとともに、引き続き、学校全体で子どもたちを見守る。
44	学校の方針に従って、組織的に対応するように努めている。	継続して情報の収集と共有を徹底し、組織的に子どもたちも見守る。

Plan9. 進路指導：児童や保護者のニーズに応える進路指導をめざす

(評価の目標点 400)

No.	結果分析【Check】	次年度以降の対策
		【Action】
45	今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、学校見学等実施が厳しかった。	進路指導室・進路資料コーナー等も設置し、充実をはかる。
46	進路希望調査・進路指導面談を今年度より実施し、7割以上の保護者が利用された。	来年度も更に希望者に進路指導面談を実施し、進路指導を行う。

■ 保護者アンケート集計 全校 提出率87.3%

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合(%)				資料													
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D										
1	建学の精神に則り、学校運営がなされている	120	86	7	1	214	56	40	3	0	<table border="1"> <caption>資料 (Item 1)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				Category	Count	1	56	2	40	3	3	4	0
Category	Count																							
1	56																							
2	40																							
3	3																							
4	0																							

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合(%)				資料													
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D										
2	仏教教育を基盤にした人間教育が学校教育基盤に根付いている	121	79	13	0	213	57	37	6	0	<table border="1"> <caption>資料 (Item 2)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				Category	Count	1	57	2	37	3	6	4	0
Category	Count																							
1	57																							
2	37																							
3	6																							
4	0																							

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合(%)				資料													
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D										
3	確かな学力の定着に向けた教育課程が設けられ、工夫された授業が展開されている	98	88	21	5	212	46	42	10	2	<table border="1"> <caption>資料 (Item 3)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				Category	Count	1	46	2	42	3	10	4	2
Category	Count																							
1	46																							
2	42																							
3	10																							
4	2																							

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合(%)				資料													
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D										
4	将来を見据えた教育環境や教育内容を創意工夫し、日々の教育実践に生かされている。	93	96	22	3	214	43	45	10	1	<table border="1"> <caption>資料 (Item 4)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				Category	Count	1	43	2	45	3	10	4	1
Category	Count																							
1	43																							
2	45																							
3	10																							
4	1																							

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合 (%)				資料			
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D
5	たくましい健康な体作りと健全な精神の育成がなされている。	90	86	31	2	209	43	41	15	1				

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合 (%)				資料			
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D
6	仲間作りを通して個性が尊重され、いじめのない人間関係の醸成がなされている。	96	99	8	6	209	46	47	4	3				

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合 (%)				資料			
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D
7	愛校心を育み、高い規範意識をもった子どもを育てている。	90	97	22	2	211	43	46	10	1				

A (当てはまる) B (やや当てはまる) C (あまり当てはまらない) D (あてはまらない)

No.	項目	人数					割合 (%)				資料			
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	1-A	2-B	3-C	4-D
8	児童やご家庭の実態と希望に応じた適切な進路指導がなされている。	7	9	4	4	24	29	38	17	17				

■ 学校関係者評価

後援会実行委員会役員の方々より評価をいただきました。校内における自己評価の集計結果や日常の教育活動についてのご意見をまとめさせていただきました。

1. 学校運営・学年運営・学級運営

本年度はコロナ感染防止対策に終始した1年でしたが、その中であっても様々な方法を工夫していただき、子どもたちのことを第一に考えてご尽力いただいたことに心から感謝申し上げます。今後も予断を許さない状況は続くと思いますが、多くの行事が中止となった今年度の経験を活かし、実施可能な方策や行事を工夫していく方向でご検討いただきますようお願いいたします。

コロナ感染防止に係る緊急連絡をその都度いただきましたが、送信内容に誤りがあったりしてしばしば混乱する場面がありました。送信の際のチェックをもう少し入念にしていただければと思います。

全児童へのタブレット端末導入により、探究学習や調べ学習も含め、子どもの学習の幅が広がることを期待しています。

来年度から始まる日能研とのTT授業については初めてのことであり、試行錯誤も必要となると思いますが、家庭でもできる限りサポートし良い結果につながるよう願っています。

学年によっては学級間で宿題や生活ルールが若干の違いがあり、保護者が対応に苦慮する場面がありました。学年・学校である程度統一してもらえれば保護者の安心感も得られます。教職員間の一層の連携を強めてより良い学校づくりにつなげてください。

2. 仏教教育

様々なハンディキャップがある人との関りや、一人一人の「ちがいを尊重する心を仏教教育で育てていただけることを期待します。

また、ガレリアのお釈迦様や体育館の救世観音菩薩像について、それがどなたであり、どうして本校におられるのか。聖徳太子様とはどのような方なのか等々、より一層子どもたちの理解が深まるようご指導ください。

年に一回は校外活動として四天王寺を訪れ、普段はなかなか聞くことができないお話を聞かせていただく機会をつくってほしいと願います。

3. 学習指導・学校行事

学習指導や学校行事においては、緊急事態宣言による制限があり、例年通りの授業は展開できませんでしたが、本校では国語・算数といった教科だけでなく、図工や音楽・体育等の実技教科にも力を入れると共に、外部で開催される大会等にも積極的に参加させるなど、子どもの学習意欲を高める取り組みを工夫してください。

また、日々提出している自主学習ノートにも先生からのコメントやメッセージをさらに充実させて、子どもたちに学ぶ楽しさや喜びを教えてください。

英語教育については子どもたちによる英語での発表の場を設け、外部への発信を積極的に行ってください。また、CLIL 授業については授業のめあてを明確にするとともに、授業に参加する日本人の先生ももっと英語を使って、充実した授業にしてほしいと思います。

学習全般については進捗についていけない子どもたちに、一層きめ細やかなサポートをお願いすると共に、これからの時代に不可欠となる ICT 機器を活用した授業は子どもたちも意欲的に学習を進めているようです。これからもさらに進めてください。

アフタースクールでは移動・準備に時間を要し、肝心の宿題や自習学習を行う時間が少なくなっている状況を工夫・改善いただき、本来の学習時間が確保できるよう効率の良い運営をお願いします。

4. 入試広報

学校やアフタースクールで行っている学習や成果は本校の特色であり、もっとアピールすべきだと思います。また、今年はコロナ感染防止の観点から、入学式では2年生の参加が叶わず歓迎ビデオを作成され流されていましたが、あれは普段の学校生活がとても分かりやすくまとまっていたと思います。学校説明会でも活用されてはいかがでしょうか。

Zoom を使ったのオーブンスクールの企画は、内容面の工夫や配慮の必要性も感じましたが、気軽に参加しやすかったです。特にプログラミング学習の様子が見られたのは好評でした。

5. 健康教育

来年度も引き続きコロナ感染防止対策をお願いします。新型コロナウイルスの感染についてはその病気自体の問題だけでなく、様々な差別や偏見等が実際に生起していることを子どもたちに学んでほしいと思います。

給食については、保護者からの要望や意見に真摯に対応いただき、調理員のみなさんに感謝しています。内容や量、新しい試みにも挑戦していただいているところですが、今後も加工品や冷凍食品を可能な限り少なくし、安心できる原材料を使用した、安全でおいしい給食をお願いします。髪の毛等の異物混入には一層ご留意いただき、衛生面での徹底を重ねてをお願いします。

性教育が各学年で実施され、家庭でもオープンに対話できるきっかけとなり、とても良かったです。

(コロナ禍で)運動不足がちな子どもたちが、もっとたくさん運動場で活動できる授業やイベントを考えてあげてください。四天王寺体操もありますが、中学校・高等学校への進学を考えると、ラジオ体操もしっかり覚えてほしいと思います。よろしくお願いします。

手洗いは各自持参しているハンカチを使用しますが、不衛生な面もあるので、ペーパータオルや足踏み式の消毒スプレー、AIによる体温測定などの導入も考えてください。

6. 生活指導

日常生活における言葉遣いや態度の指導を徹底すると共に、震災等の危機状況に陥った時の対応についての指導もお願いします。

また、日々のトラブルは起きて当然です。未然防止も大切ですが、起きた後の対処、さらには、この経験を今後如何に生かしていくかという観点からのご指導もお願いします。

7. 人権教育

本校での人権教育は仏教教育と関わる部分も多く、人とのつながりの中で他者の立場に立って感じる・考える心をさらに学ばせていただくことを期待しております。

障がいのある人について考え、学ぶ機会をつくっていただき、他者を尊重する心、他者のちがいを受け入れる心を育て、将来様々な状況に直面した時も前向きに考えて歩める力の芽を育ててほしいと思います。

8. 進路指導

保護者はいろいろな選択肢の中から、子どもの成長や興味・関心に基づいて進路選択をしたいと考えています。できるだけ早い情報提供をお願いします。特に四天王寺学園内での特別推薦制度についての情報提供をお願いします。

四天王寺東中学校への進学指導についても丁寧な説明と、参加者を6年生に限定せず他学年の参加も可能とした学校説明会の開催等子どもに寄り添う進路指導をお願いします。

また、外部進学された卒業生や保護者の方のお話を聞く場面があればうれしく思います。

日能研とのTT授業については、該当学年の保護者を対象に、勉強方法やテキスト・ノートの使い方等も含めた説明会等を行ってください。

令和2年度 学校評価

令和3年7月12日発行

発行責任者 学校法人四天王寺学園
四天王寺小学校
校長 花山 吉徳

監修 教頭 井村 智史
編集 学校評価検討委員会
委員長 井村 智史